

昭和21年7月10日第3種郵便物認可

和歌山県は総合26位

愛媛国体が閉幕

第72回国民体育大会「2017愛媛つなぐえひめ国体」(愛媛国体)は10日、閉幕した。和歌山県は総合26位だった。和歌山県選手団は、地元開催だった2015年の和歌山国体で天皇杯(男女総合優勝)

を獲得。昨年の岩手国体は総合20位だった。今回は10位台を目標にしていた。得点は934・5点(競技得点534・5点、参加点400点)。女子総合(皇后杯)は28位だった。

県選手団の山本祥生総監督(県体育協会理事長)は「今年も高い競技力を維持している競技がある一方、入賞が期

待されたが本来の力を発揮できず、課題が残った競技もあった。課題を競技力向上対策会議や各団体と連携して解決し、国体選手のサポートをより一層推進する」とコメントした。

少年男子団体が11位

体操競技

第72回国民体育大会(愛媛国体)は9日、体操競技少年男子団体の決勝があり、和歌山県は11位だった。

和歌山県は、田辺工業高校から高田佑貴選手(3年)、中田雅貴選手(同)、木本大晴選手(同)、今岡一斗選手

(2年)と、向陽高校3年の山本敬太郎選手が出場した。

紀南関係ではこのほか、7/9日にあった空手道で田辺市の芝孔明選手(熊野高校3年)と井本匠選手(箕島高校教員)、熊野高校卒業生で那智勝浦町出身の亀井大雅選手(大理大学1年)が組手の各種目に出場。団体戦は1回戦で敗れ、個人戦では成年男子軽量級に出場した井本選手のベスト8(5位)が最高だった。

【レスリング】

- 〔グレコローマンスタイル〕
- ③成年男子130キログラム級II谷田昇大(県教育庁)
- ③少年男子50キログラム級II岡本景虎(和歌山北高校2年)
- ③少年男子120キログラム級II檜山魁豊(和歌山工業高校3年)